



for skin. for life.
100th Quality.

CSR報告書

株式会社マックス



目次

マックスでは、2024年3月から新・中期経営計画がスタートしました。
SDGsへの取り組みによる環境配慮や地域への貢献、安全な商品の開発
など、より一層みなさまへの社会的責任を事業を通じて果たしていきます。

トップメッセージ	P.3
会社概要 / 事業所一覧 / 沿革	P.5
経営理念 / 経営ビジョン	P.6
ステークホルダーとコンプライアンスについて	P.7
品質管理体制について	P.8
人財について	P.9
環境との関わりについて	P.11
地域社会との関わりについて	P.13



トップメッセージ

社会に必要とされる企業で あり続けるために

株式会社マックスは、2025年3月に120周年を迎えます。これはひとえにお客様、従業員、株主、取引先、そして地域社会の皆様のご支援とご協力のおかげであり、心から御礼申し上げます。

当社は1905年（明治38年）の創業から変わらないDNAとして「社会に必要とされる企業となるためにはどうあるべきか」ということを常に考えた企業活動やモノづくりを行い、これまでお客様や地域社会との関係を築いてまいりました。

そして日本はこれから世界で類を見ない超高齢化社会へ突入していきます。生活様式の在り方や社会インフラの見直しなど、様々な変化が訪れることが予測されています。また世界に目を向けると各地で変転極まりない情勢が続いています。グローバル化が進み世界との距離がこれまで以上に近づく中でその影響は少なくありません。

この激しく変化する社会の中において“必要とされる企業になり続ける”ために、昨今、私たちは商品やサービスを通じて何を後世へバトンタッチしていけるのかということを考える重要性を強く感じています。

持続可能な社会へ向けて

現在マックスでは、10年以上前から化粧品メーカーとしてお客様が商品を使用することで肌への効果効能を得ていただくだけではなく、お客様がその商品を選び使用することで何かしらの社会課題の解決に貢献できて、延いてはそれが“笑顔あふれる未来の創造につながる”ということをコンセプトとした商品開発を行っています。

<食品ロス問題への取り組み>

食品ロス問題への取り組みとして、2009年から柿渋を配合した石けんやボディソープ、シャンプー等の洗浄料シリーズの全国販売を開始しています。柿渋は、古くから消臭や防腐、アンチエイジングなどの効果がある成分であり、一方で食品の柿栽培の際に摘果して捨てられる柿を利用した原料でもありますので、フードロス削減のために当社では柿渋を配合した新商品の開発を積極的に行っていました。

<地元地域への取り組み>

地域活性化への取り組みとして2019年から生産拠点として事業所を置く奈良県の地域創生の活動として、奈良県、近畿大学農学部、地域の複数の生産者、そして当社との産学官民連携で開発したご当地コスメの販売を開始しました。

奈良県を代表する農林水産物を美容成分として配合し、コスメとして六次化することで、県産品の付加価値を高め、またコスメ販売の際に食品もアピールすることで地域全体での活性化に貢献しています。

<教育への取り組み>

現在では、教育への取り組みとして、当ブランドのマーケティングを題材として近畿大学経営学部商学科の金相俊教授のゼミと通年で活動を行っており、若い世代への教育機会の提供にも努めています。



<プラスチック削減への取り組み>

脱プラスチックにつながる活動として、2020年に髪が軋まない固形シャンプーの開発に成功しました。

これは、100年以上当社が培ってきた石けんの固形化技術を応用することで実現し、これまでの液体シャンプー以上のヘアケア機能と共に、ボトルレスで脱プラスチックとなり、海洋プラスチックごみ問題の解決に貢献しています。

これからの未来へ向けて

このような社会課題の解決は、持続可能な社会作りの一助となると共に、「SDGsへ参加したい」というお客様の人や地域への思いやりやあたたかさを汲む新しい付加価値になると考えています。

また、当社の従業員にとっても「地域にお役立ちする仕事に携わることができる」という誇りや喜びなどの働き甲斐につながり、より良い次の商品をお客様へお届けするための重要なエネルギーとなって相乗効果を生み出します。

マックスはこうした活動を通じて、今後どのような社会を創造し、どのように子供たちや孫世代へ「笑顔あふれる未来」をバトンタッチしていくか、引き続き従業員、そしてステークホルダーの皆さまと共に追及してゆく所存です。

2024年9月

代表取締役 大野範子

'エコ'と'機能'を両立させた技術の結晶 「The BAR」

マックスは、創業116年の製造技術で

シャンプー、コンディショナーの固形化を実現しました。

固形タイプにすることで、機能成分を高濃度でお届けできるので使用感について高い評価を得ています。

また、プラスチック容器が必要ありませんので、サステナブルでシンプルな商品となっています。



会社概要

社名	株式会社マックス
代表者	代表取締役社長 大野範子
創業	1905年
資本金	2,500万円
従業員数	100名 (2024年9月現在)
事業内容	石けん、ボディソープ、シャンプー、コンディショナー、入浴剤、化粧水、ボディクリーム等の化粧品及び医薬部外品の企画・製造販売

事業所一覧

本社 〒581-0084
大阪府八尾市植松町2-9-29



本社

東京支社 〒101-0053
東京都台東区浅草橋3-20-18 第八菊星タワービル6階

奈良事業所 (奈良工場、物流倉庫)
〒634-0831
奈良県橿原市曾我町12-4



奈良事業所

沿革

1905年 (明治38年)	大阪府大阪市に小川石鹼製造所を創業
1947年 (昭和22年)	株式会社小川石鹼製造所を設立
1957年 (昭和32年)	本社及び工場を現在の大阪府八尾市に移転
1976年 (昭和51年)	社名を株式会社マックスに変更
1991年 (平成3年)	奈良県橿原市に物流倉庫を開設
1997年 (平成9年)	奈良県橿原市に奈良工場を開設し、液体製品の生産を開始
2001年 (平成13年)	奈良工場内で入浴剤の生産を開始
2006年 (平成18年)	奈良工場内で固形石鹼の生産を開始
2008年 (平成20年)	奈良事業所内に自動倉庫を備えた物流倉庫を新設
2024年 (令和6年)	生産性向上のため、本社工場の生産設備を奈良事業所に集約

経営理念

マックスでは、企業活動を行うにあたっての「当社が社会に対してやるべきこと」、「最も基本的な姿勢や考え方を示したもの」として経営理念を定めています。従業員が幸せであって初めて、お客様を幸せにする商品ができ、社会に貢献できるとの考えから「社員の幸せ」を最上位としています。

社員の幸せを願い

一. 社員の精神的（働き甲斐）物理的幸せを追求し家族の幸せを追求する

商品・サービスに対して

一. 商品・サービスを通じてお客様の悩みを解決しお客様に笑顔をお届けする

人と地域・社会に向けて

一. 清く正しく美しい企業活動を行い社会に必要とされる企業となる

経営ビジョン

経営理念をベースとし、将来への展望やグローバルな視点を含めた、恒久的な「マックスの目指す姿」として経営ビジョンを定めています。

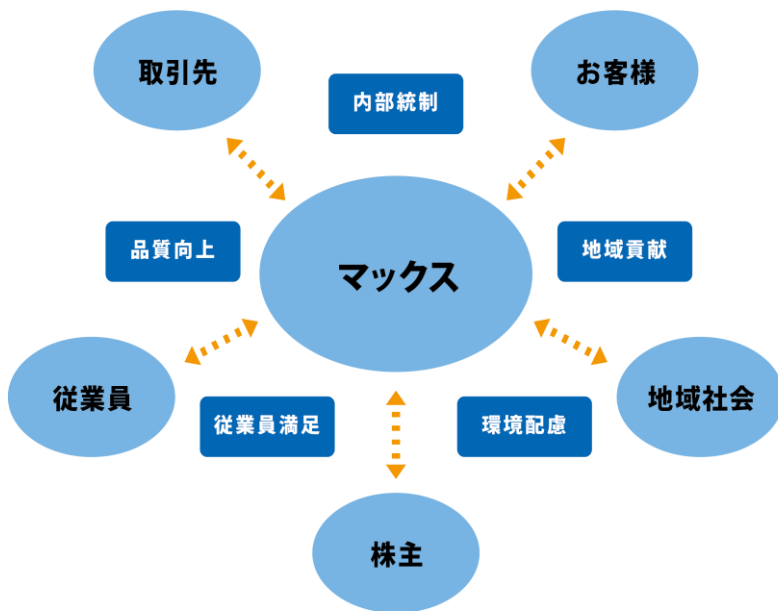
経営ビジョン

Made in マックス
世界のオンリーワン企業へ!



ステークホルダーとの関わりについて

マックスでは「商品を通じてお客様の悩みを解決し、笑顔をお届けする」ことを目指すとともに、お客様・お取引先様・地域社会・従業員・株主様などのステークホルダーから常に信頼を得て、発展していくことを目指し、日々の企業活動を行っています。



マックスでは、下記に関する取り組みを企業としての重点項目と考え、活動を行っています。

【内部統制】 ⇒ コンプライアンス順守

【品質向上】 ⇒ 品質管理体制の構築

【従業員満足】 ⇒ 人事制度の充実、社員親睦活動

【環境配慮】 ⇒ CO2削減対策、環境配慮商品の開発

【地域貢献】 ⇒ 産学官連携による、地元特産品を使用した商品の開発・販売

コンプライアンスについて

内部統制

マックスは、「商品を通じてお客様の悩みを解決し、笑顔をお届けする」ことを目指して、法令の遵守はもとより企業活動においても当社に求められる企業倫理を十分に理解し、社員一人ひとりが社会規範を尊重し、良識と責任をもって行動し、正直で透明な企業活動を行う為、就業規則を中心とした社内規定の改訂と拡充を進めております。

行動指針

マックスでは、会社の「あるべき姿を示した」経営理念をもとに、人生や仕事についての「普遍的な共通の価値観」を社内を示した【行動指針】を定めています。

行動指針冊子

行動指針の2つの軸

マックスでは、行動指針として次の2つの軸を定めています。

◇個人が素晴らしい人生を送るために

⇒マックス社員一人ひとりが企業活動を通して日々を充実させ、前向きな気持ちで働く目的を見出し、生きる活力を得るための価値観。

◇素晴らしいマックスとなるために

⇒マックスの社員が自律的行動に芽生えることで、社会貢献できる「素晴らしいマックス」となるための価値観。



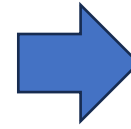
品質管理体制について

12 つくる責任
つかう責任



【GMP 基準の実践】

- 1、人為的な誤りを最小限にする
- 2、製品の汚染及び品質低下を防止する
- 3、高品質の製品を保証するシステムを構築する



お客様に
「安心」と「信頼」

お客様に「安心」を提供し、「信頼」を得るためには化粧品GMP基準の実践は不可欠です。品質を評価するのは市場＝「お客様」と考え、製品の設計品質からお客様のお手元に届くまでの間、そしてお客様に喜んでご使用いただけるまですべてを品質保証と位置づけております。

マックスが製造している石けん・ボディソープ・シャンプー・入浴剤などは化粧品・医薬部外品に分類され、「医薬品医療機器等法」により規制されています。より良い品質の製品をお客様に提供するために、それら化粧品・医薬部外品の製造にあたっては「医薬品医療機器等法」に則り、必要な届出や承認申請等の業務を遵守しております。

【製造における品質管理】

高品質な製品を生産するために、生産ラインでは徹底した衛生管理を行っております。マックスで製造している製品である化粧品・医薬部外品は、直接肌に触れるものなのでわずかな異物も混入することのないよう、作業環境には細心の注意がなされております。

1 医薬品業界でも実績のある 秤量管理システムを導入

様々な原材料の管理や、秤量・配合などの知識や経験が必要となる業務を、コンピューターによって一貫管理。



◇秤量システム



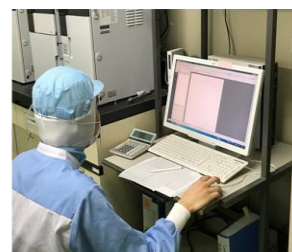
PCの配合DATAと原料バーコード、計量器がリンクして指定原料が指定の量を探取しているか判定（エラーの場合は作業が先に進まないシステム）



指示された秤量物のバーコードを読み取り、判定が正しければ投入

◇品質検査

各回、工場内の分析室で製品の品質を検査（有効成分の含有量、粘土、色彩、他）



2 GMP 基準の遵守

入退出時の衛生管理、清潔な帽子やマスク、作業ウェアの着用、液体製造ラインの洗浄など、衛生活動を徹底。



金属検出機やX線異物検査機を石鹼成型ライン上に導入し、徹底的に異物混入対策を実施しております。また配合間違い等防止のため、原料受け入れ～配合までの工程でも新システムを導入し、品質不具合の撲滅に努めております。

金属検出機



X線異物検査機



人財について

8 働きがいも
経済成長も



人財育成

会社の発展は、社員一人ひとりの成長とともにあります。

人財育成は、会社が目指すビジョン・ミッションを実現する重要な戦略課題と捉え、社員一人ひとりの成長を支援していきます。

管理職研修

会社・社員の成長には管理職者の意識改革が欠かせません。組織上の役割に応じたスキル・意識・行動でのさらなる向上のため、年2回研修を実施。（2023年度より実施）

考課者研修

会社の成長のためには現場での部下育成・教育が欠かせません。人事考課のスキル・意識・行動のさらなる向上のため、年2回研修を実施。（2021年度より実施）



通信教育

職責・等級毎に必要なとされるスキル・知識を可視化。社員の自主性を重んじる学習体制を実施。（2021年度より実施）

再雇用制度

マックスでは、定年後再雇用制度を導入しており、原則、希望者全員を再雇用しております。また、定年後も専門性の発揮が期待できるようなシニアエージェント社員制度や、評価制度を運用し、モチベーションや挑戦意欲の喚起を行っています。

社員親睦活動

従業員同士の親睦を図るため、社員会での懇親会や社内イベントのバーベキューを開催しております。これらは毎年の恒例行事となっております。



社内防災活動

<取り組む目的>

1. 自然災害発生時において人命を最優先として従業員と従業員の家族の安全と生活を守る。
2. 地域社会の雇用の維持に貢献する。
3. 製品の供給の継続 又は早期の再開により、お客様への影響を最小化する。

<事業継続力強化計画に基づいて活動> ※近年活動状況

● 消防体制強化活動

火災や地震の災害対応を強化するために年1回 消防署と連携して訓練実施。



● A E D 導入／講習実施

従業員・来訪者様への安全配慮としてAED導入を進めると同時に講習実施。



● 安否確認システム導入

● 4つ折担架常備

● 耐震対策

環境との関わりについて

奈良事業所/環境対策

マックスでは、2019年に環境対策への取り組みのスタートとして、環境省が公募している「CO2削減ポテンシャル診断」を実施しました。ポテンシャル診断では、製造設備使用データの計測とエネルギー使用量データの解析により具体的な課題と対策の抽出を行いました。2020年には課題を解決させるために、同じく環境省公募の「低炭素機器導入事業」を通じて対策を行い、CO2排出量の削減を実現しました。

※ガスコージェネレーションは「停電対応機」を選定
停電時でも自立して発電して事業活動の継続が可能

主な導入設備



太陽光発電設備



コンプレッサー



チラー



空調設備

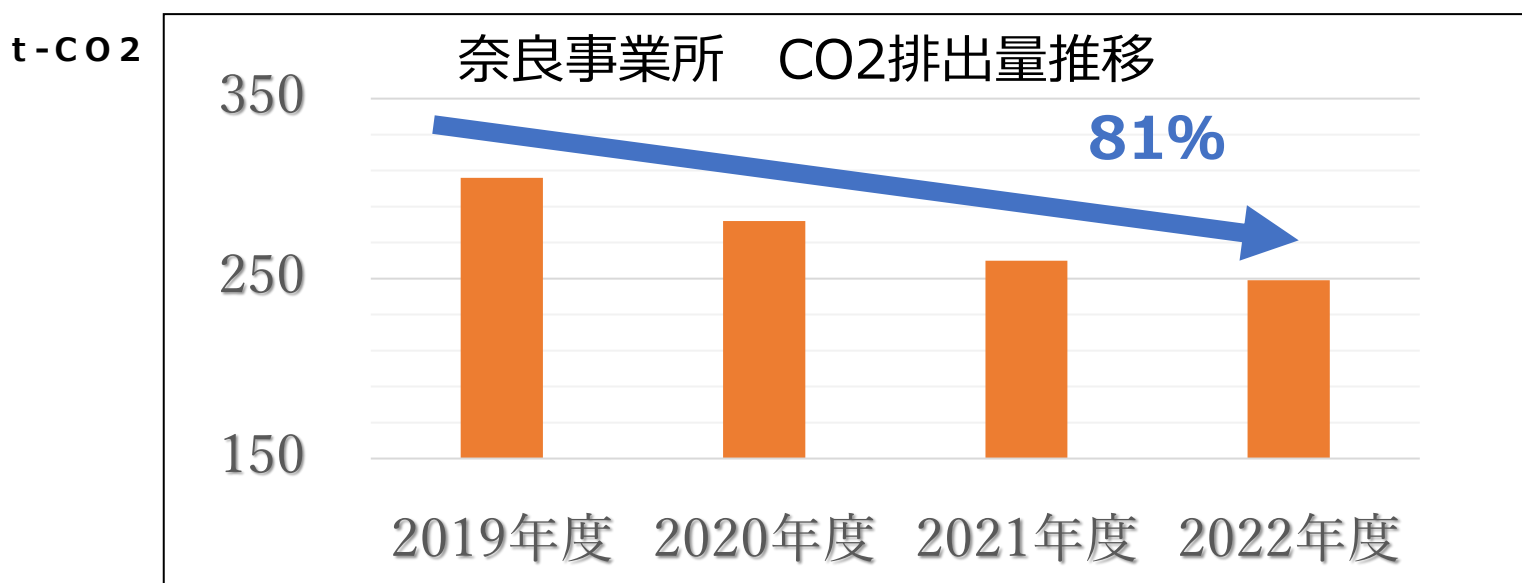


ガスコージェネレーション

CO2削減効果

- I.最新の高効率空調設備への更新（空調・コンプレッサー）
- II.太陽光発電設備を増設し、発電能力を増強
- III.環境負荷の低い天然ガスを利用した発電システムの導入

上記の活動により、奈良事業所のCO2排出量は2019年度の306 t から2022年度には249 t へ削減できました。



環境に配慮した商品開発の取り組み

14 海の豊かさを
守ろう



The BARシリーズの開発・販売

プラスチック容器の使用量を削減するため、シャンプーやコンディショナー等を固形化した商品“The BAR”を開発しました。

近年、SDGsなど「持続可能な社会に向けた取り組み」への意識が世界的に高まる中で、2019年のG20大阪サミットで「海洋プラスチックごみ問題への取り組み」ということがテーマとして掲げられました。

マックスでも企業活動を通じて環境に配慮した貢献ができないかと考え、その取り組みの一つとして、液体シャンプー&コンディショナーの固形化に取り組んでおります。

The BARシリーズの特徴

1. 海洋プラスチックごみ削減に貢献

固形であることからプラスチックボトルを使用せず、紙包装だけで商品をお届けすることが可能です。このことから海洋プラスチックごみ削減に貢献しています。

2. 節水に貢献

固形シャンプーは製造過程や商品にほとんど水を使用しません。（液体と比べて99%削減）このことから節水に貢献しています。

3. 地球にも、髪にも良いシャンプー

液体を固形化することが可能になると、液体洗剤では配合できないヘアケア機能の高い成分（液体だと沈殿してしまう成分、等）も使用可能になります。

このことから“髪が軋まない”固形シャンプーの開発を実現しています。

the
BAR

[2021年1月～発売]

髪が軋まない、
固形シャンプー
固形コンディショナー
が誕生



「VICTOIRES DE LA BEAUTE 2020-2021」を受賞



フランスで唯一の消費者が審査員となる厳正で名誉あるビューティアワードを受賞。
※企業名やブランド名は伏せられた状態で審査を行い、「真の商品力」を審査される賞です

※EXPO 2025 大阪・関西万博に出品決定 

地域社会との関わりについて

4 質の高い教育を
みんなに



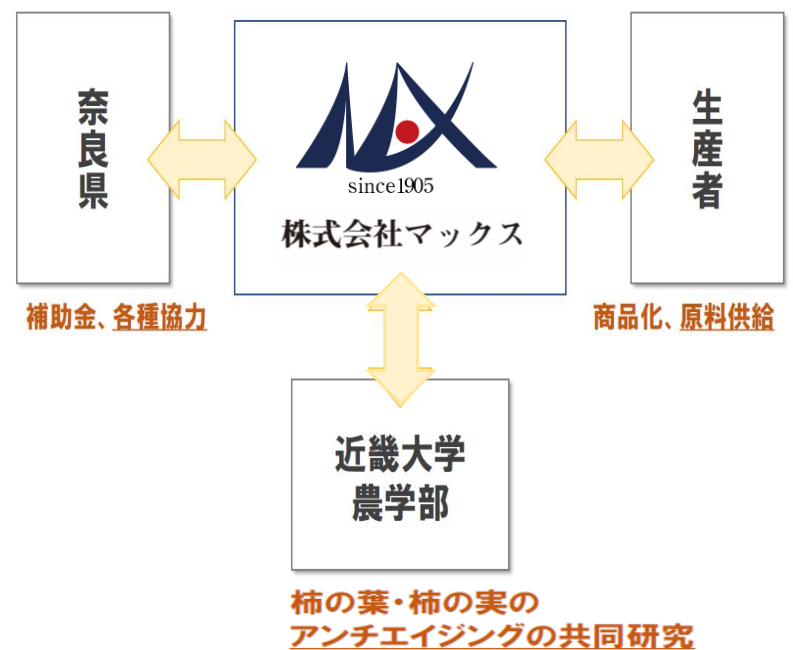
ご当地コスメの開発・販売

マックスは、主力生産拠点が奈良県橿原市にあることから、近畿大学農学部・奈良県・地元生産者（産・学・官・民）と連携し、地域を代表する農産物を活用した化粧品シリーズを販売することで、地域観光活性化の一翼を担っています。

奈良県の特産品である柿の葉や
蓮根、黒米、菜種油などを配合



活動の全体像



近畿大学経営学部との共同開発

マックスでは教育への取組みの一環として、近畿大学経営学部でマーケティングや旅行産業論を専攻するゼミの学生と、共同で商品開発を行っています。

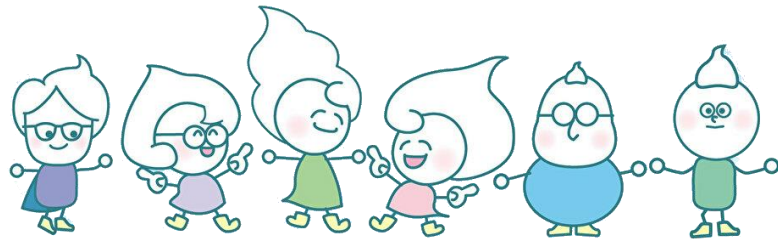
この取り組みは、市場調査や分析、商品企画、販促企画、PRまでのマーケティング活動全般を学生と共同で行い、企業活動を体験してもらうことで、仕事の遣り甲斐や備えるべき技術、知識を学んでもらうことを目的として活動しています。

2023年度には奈良のご当地コスメシリーズ商品として、「柿の葉配合ハンドジェルクリーム」を開発いたしました。

◇ハンドジェルクリームの特徴



- 潤いを与えるエイジングケア。
- 乾燥したお肌にたっぷり水分補給
- しっとりして、でもべたつかない使用感
- ポーチに入るコンパクトサイズ
- 自然由来の美容成分でやさしく保湿
- 心もお肌もリラックスするシトラスの香り



©NIPPON ANIMATION CO.,LTD.



株式会社マックス

発行 2024.09

株式会社マックス 管理部監修